

「出産後は早く仕事に戻りたい！」 過半数が未就学児のうちに仕事復帰を希望 ～子育てへの理解とパートタイムで出来る仕事の創出が復帰の課題～

働く意欲のある主婦層へのアンケート:「しゅふ活研究室」調べ

主婦に特化した人材サービスを提供する株式会社ピーススタイル(本社:東京都新宿区、代表取締役:三原邦彦、以下ピーススタイル)が運営する「しゅふ活研究室」は、女性の仕事選びが、結婚・出産をきっかけにどのように変化するかをテーマにアンケートを行いました。

出産後の女性は、「子どもが未就学児」という比較的早い段階で仕事復帰を希望する声が過半数を占め、その実現には「子どもが風邪を引いたときに休めるか」・「子どもの預け先が見つかるか」など、緊急時の休みの取得や、預け先の有無が課題となっている実態が浮き彫りになりました。

【調査概要】

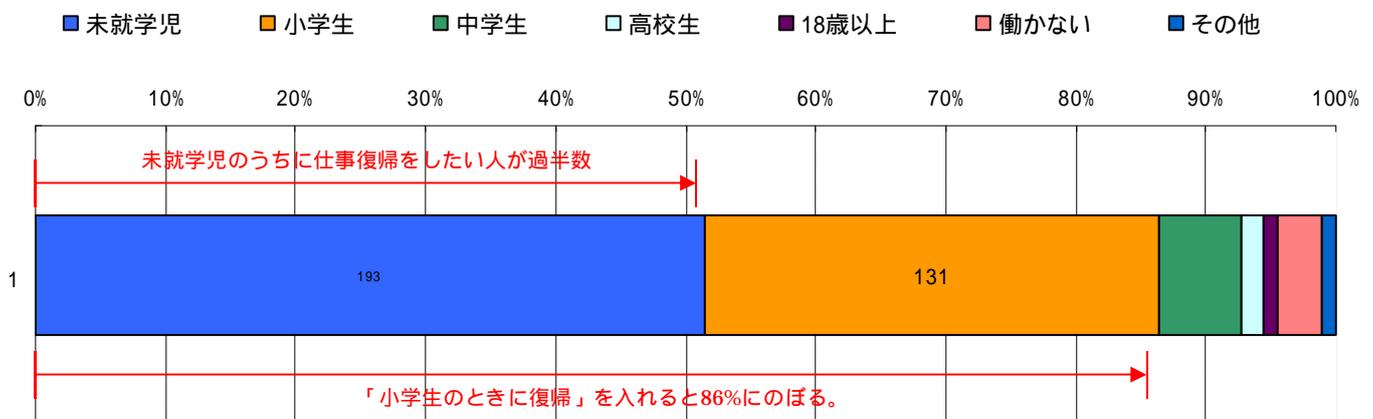
調査手法 : インターネットリサーチ(無記名式)
有効回答者数 : 375名(すべて女性)
調査実施日 : 2011年10月19日から2011年10月30日まで
調査対象者 : ピーススタイル/しゅふJOB登録者及びフェイスブック等にて一般公募

調査結果サマリー

1. 子どもが未就学児のうちに仕事復帰したいと答えた女性の数は52%。
2. 子どもの年齢層別に見ると、もっとも多かったのは0-3歳。
3. 年齢層が上がるにつれて仕事復帰希望者は減少。出産後少しでも早く仕事復帰したい傾向。

1. 子どもが未就学児のうちに仕事復帰したいと答えた女性の数は52%。

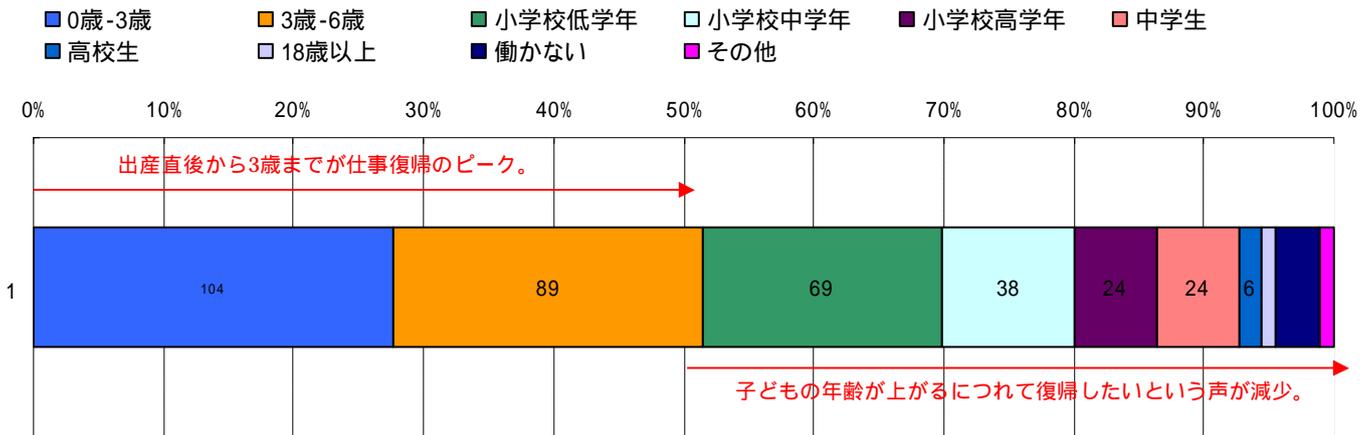
図1: 仕事復帰を希望するタイミング(子どもの就学形態復帰を希望するタイミング(子供の年齢に。～)



出産後、「子どもが何歳になったら仕事復帰したいか」について尋ねたところ、未就学児までと回答した人が一番多く過半数を占めた。さらに小学生の間に仕事復帰したいと考える人の数を加えると、全体の86%に上る。一方、中学生の間という回答は6%。高校生もしくは18歳以上と答えた人は3%であった。

2. 子どもの年齢層別に見ると、もっとも多かったのは0-3歳。

図2: 仕事復帰を希望するタイミング(子どもの年齢)



仕事復帰のタイミングは、出産直後から3歳までを頂点として、子どもの年齢が上がると共に徐々にその比率が低くなっていくことから、女性が出産後に少しでも早く仕事復帰したいと希望する傾向にあることが見てとれる。

3. 年齢層が上がるにつれて仕事復帰希望者は減少。出産後少しでも早く仕事復帰したい傾向。

仕事復帰に障害や不安となることについてはフリーコメントとして以下のような内容が寄せられた。
 「子どもの緊急時に休みが取れるか否か」、「預け先の有無」、
 「プランクがあるので心配」、「出勤日数に制限があるため認められるか否か」という声が多かった。

以下、仕事復帰の際の不安・障害要素(フリーコメント一例)

子育ての理解・休みの取得に関するコメント

- ・「子ども、家庭の都合で休めることを許してくれる会社、職場なのか。子育てをわかってくれる上司がいるか。」
- ・「結婚後は「いつ子どもができるかわからない」、出産後は「いつ子どもが原因で休むかわからない」と何処も雇ってくれなかった。」
- ・「子どもがしょっちゅう熱や病気になったとき、又は長引いたりしたときに、休ませてもらえるかが不安です。」
- ・「子どもの体調不良で休めるか、そのことに理解のある会社かということ、両立が負担にならない範囲で仕事ができるかどうか。」等

プランクに関するコメント(一例)

- ・「プランクがあっても、周りが理解してくれるのか。また、受け入れて貰えるのか。」
- ・「プランクが長くて会社に馴染めるかどうか、また年齢的に無理がなくよい仕事が見つかるかどうか。」
- ・「プランクがあったり、子どもの熱などで休みやすい職場か?とか、周りの人との年齢層等。」
- ・「すぐにキャッチアップできるかどうか。時間が短くても貢献できるかどうか。」等

パートタイムでの仕事の有無に関するコメント(一例)

- ・「週5日や7~8時間労働が困難な為、仕事数が少なかったため、就業出来るのか不安でした。」
- ・「出勤日数や時間に制限があるので、それを受け入れてもらえるか。」
- ・「出産後は、パートタイムでの仕事を希望するが募集があるのかどうか心配。」
- ・「勤務時間帯や勤務場所を重視して仕事を探すのでなかなか働く場所がない。」等

ポイントを以下にまとめます。

厚生労働省が毎月集計する一般職業紹介状況2011年9月実績によると、常用型パートの有効求人倍率は0.81。事務的職業にいたっては0.36と、求職希望数と比較して求人数が少ない状況が続いています。株式会社ビー・スタイルでは、女性が結婚・出産後も仕事を続けてキャリアを維持したいと考える傾向を踏まえ、より多くの主婦の就業機会を創出するべく、主婦層を主軸としたパートタイム型派遣・在宅型での人材サービスに力を入れていく所存です。

< 株式会社ビースタイルについて >

企業理念は「best basic style」。時代に合わせて新たなスタンダードをつくる会社です。この理念に基づき、2002年の創業以来、働きたい主婦に対して就業支援を行って参りました。約11年間で生み出した主婦の雇用数はのべ3万人。女性がそれぞれの価値観、ライフスタイルに合わせて働ける社会の実現に向け、派遣・在宅・エグゼパートなど、様々な人材サービスを提供しています。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

(株)ビースタイル 広報担当:金子・柴田・川上 〒160-0022 東京都新宿区新宿4-3-17 ダヴィンチ新宿ビル5F
 Tel:03-5363-4402 Fax:03-5363-4544 Mail:pr@b-style.net ホームページ:http://www.b-style.net/

報道関係者のかた向けに、当リリースに掲載しきれなかったアンケート結果をご用意しています。
 本リリースの引用の際は、必ず「ビースタイルしゅふ活研究室調べ」とクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。